

セルテックウッドの特性

セルテックウッドは天然木を使用しているので反る、すく、曲がる等の自然素材特有の現象が現れる可能性があります。特に湿度による寸法変化が起こりやすく、乾燥、湿潤および温度差の激しい現場には注意が必要です。

■使用上のご注意

傷付き・へこみ・単板剥がれの原因と対策

テーブル・椅子など

テーブルや椅子などを引きずると、床表面に傷が付きます。足元にフェルトやゴムキャップ等を付けて、保護しましょう。フェルトはスーパーやホームセンターなどで手軽な粘着剤付きのものが販売されています。

重量物

ピアノや冷蔵庫等の重量物には、インシュレーター(緩衝材)や敷板を脚部の下に敷いて重量を分散させてください。部分的に荷重がかかると、その部分にへこみが出ることがあります。また移動させる場合は必ず持ち上げた状態で行うか敷板等を敷いてください。

重量配膳車

福祉施設等で自重が、200～400kgの冷温式の重量配膳車を使用される場合、耐荷重式の床材を指定してください。(根太工法用フローリング・無垢フローリングなど対応可能)

- 一般用床材の場合、割れや剥離(合板タイプの場合)等の破損が発生する場合がありますので、一般用床材には使用しないでください。
- 重量配膳車のキャスターおよび車輪はエア式かゴム式とし硬質樹脂脂製は使用しないでください。やむを得ず使用する場合は床表面のへこみ・キズ等の悪影響が予想されます。本体荷重が分散し、集中荷重とならない構造としてください。(集中荷重になる際は、緩衝材・敷板等を使用してください。)

マットカーペットの固定

カーペットや玄関マットのズレ防止に粘着テープ(ガムテープや両面テープ等)の使用は避けてください。剥がすときに床表面を傷める原因になります。

フロアーコーティング剤(圧塗り表面コート剤)

直張フロアーに圧塗り表面コート剤を使用しないでください。下地スラブの湿気が逃げず、床鳴り・突き上げなどの原因になることがあります。

シミ・変色・ヒビ割れの原因と対策

直射日光

窓際など直射日光が長時間あたりやすい場所は、変色やヒビ割れが発生しやすくなります。カーテンやブラインドで日よけてください。また、観葉植物はときどき置く場所を移動させてください。長時間同じ場所に置いた場合、日焼けなどにより変色が発生する場合があります。

高温のもの・薬品

火のついたタバコを落としたり、熱いアイロン等を直接床の上に置くと、床表面の損傷の原因になります。タバコのヤニはアルコールを染み込ませた布巾で拭き取ってください。直接高温の油をこぼした場合はすぐに拭き取ってください。また、各種薬品やアルカリ性洗剤、灯油などをこぼすと変色のおそれがありますので、すぐに拭き取ってください。

ペット

ペットなどの排泄物をそのまま放置すると変色する原因になります。排泄物で汚れた場合は、速やかに固く絞った雑巾で拭き取ってください。また、ペットの爪で床表面に傷がつくことがありますので注意しましょう。

暖房器具

床材は温度変化によって伸縮します。長時間熱にさらすと乾燥のしすぎによるヒビ割れや変形が起きます。温風ヒーター等の熱風が直接当たらないようにカーペットやマットを敷いてください。電気カーペットをご使用の際には、床との間にカーペットを敷いて熱をやわらげてください。

水回り

木質床材は木材の性質上特に湿気を嫌います。床材は濡れたままにしておくと、ヒビ割れ、変色、シミ、剥離(合板タイプの場合)の原因となります。濡れた場合はすぐに拭き取ってください。

- 台所・洗面所等の水回り／マットを敷き、保護してください。
- 観葉植物等の鉢／水受け用の皿を敷いてください。
- 窓際・縁側／雨の吹き込みに注意してください。
- トイレ／床にこぼれた排泄物中のアンモニアはシミの原因となります。すぐに拭き取ってください。

木質製品の特製についてご理解いただきたいこと

【床鳴り】

床鳴りは音の程度にもよりますが、フロアの継ぎ目部分が擦れて音が発生していることが考えられます。これは、木の性質としての調湿効果が働き、伸び縮みを生じることである程度はやむを得ない現象です。商品の性能、使用上特に問題ありません。その他、水をこぼして長時間放置した場合や、水気の多い場所でお手入れをされた場合などでも起こる場合があります。また、ワックスや表面コート剤の塗布、下地条件などでも発生する場合があります。

【虫食い】

一般にフロアは高温高圧工程を経て製造されるため、製造段階での虫害はありませんが、木質材料の特性上、製品の流通段階や施工後に何らかの理由で虫害が発生することがあります。万一発生した場合、専用の薬剤を注入するなど、早期対策が必要です。処理専門業者等にご相談ください。

【色のバラツキ】

自然素材である天然木の化粧単板や無垢材は、同じ樹種でも一本一本個性があります。木目・色調が異なるのはもちろん、成長過程で生じる節や入り皮なども天然木ならではの個性です。天然素材ならではの特徴としてご理解の上、その味わい深い魅力をお楽しみください。

施工上の注意

- ・下地乾燥期間は、夏場で2～3週間、冬場で3～4週間以上十分乾燥するようになるべく早く打つようにしてください。(下地含水率15%以下)
- ・スラブ面の不陸は、2mmあたり3mm以下になるようにしてください。モルタル下地で不陸が3mm以上ある場合は、表面にセルフレベルリング材を施工してください。
- ・天然木を使用していますので施工前に仮敷きを行い、色・柄の調和をとるようにしてください。

■指定接着剤

フロアーウッド U

※ 当社の指定接着剤は、JIS 規格による接着基準を満たしていますので、必ずご使用ください。
※ 接着剤は、直射日光のあたらない場所 (5℃～35℃) で保管してください。

■基本的な施工の流れ



■施工方法

01 割付け

施工エリアのサイズを測り、貼り始めの位置を決めます。原則的に、施工エリアの中心部より左右の端に極端な細い物が入らないように割付けし墨出しをしてください。仮並べをして確認することをおすすめします。

02 接着剤の塗布

- 乾式工法の接着剤はウレタン樹脂系接着剤を使用してください。
- 床への塗布は歯付ヘラを用いてください。塗布量については450～500g / m²が理想的ですが下地の凹凸があるときはその限りではありません。施工面以外のところに接着剤を付着させないようにし、万が一付着したときは濡れたタオル等でよく拭き取ってください。

04 切り込み

端部でカットがある場合は、丸ノコ等を用いてカットしてください。

06 施工後の点検・養生

- 施工後はゴムハンマーで叩いて浮きがないかを点検してください。
- 施工用接着剤がフローリング表面に付いた場合は、固まる前に濡れた雑巾拭き取ってください。（硬化してしまうと取れなくなります。）

03 貼付け

- 施工時の収まり等については巾木にフローリング突き付けとしコーキングおよびエキスパンションはとらないようにしてください。
- 床面に見切りが入るときには必ず現場監督との打ち合せによってフローリング施工前に取り付けを行ってください。

05 圧着

終了後は、できるだけ圧縮、養生をかねて10kg前後の重しを置いてください。

07 養生

接着剤が完全に硬化するまでは極端な負荷や温度変化を避け、養生シートなどで床面を保護してください。

メンテナンス

日常のお手入れはゴミや埃を取り除き、乾いた雑巾やモップで乾拭きをしてください。

- ・水漏れ箇所に化学雑巾は絶対使用しないでください。万一使用した場合、床表面が白っぽくなるおそれがあります。また、化学雑巾を床上に長時間放置しておくとう変色のおそれがあります。
- ・ひどい汚れは、濡れたままの雑巾での水拭きは絶対しないでください。濡れたままの雑巾で水拭き等をした場合、床表面の割れや剥離等が生じるおそれがありますので固く絞ってから拭き取ってください。

ワックス掛けは1年に数回の割合で、次の点に留意してください。

- ①風通しを良くして、天気の良い日を選んでください。室温5℃以下の時や、雨天で温度が高いときは使用しないでください。床表面が白っぽくなる場合があります。
- ②ゴミや埃を取り除いたあと、雑巾を水または床用洗剤等で濡らし硬く絞ってから拭き取ってください。乾燥が不十分ですと、床表面が白っぽくなる場合があります。
- ③ワックスをモップ等に含ませ、やや強めに絞った床面の目地に溜まらないよう木目方向に沿ってムラなく塗布してください。